

## 会 議 録 (要旨)

会議名	第2回瑞穂町教育基本計画審議会
開催日時	令和元年7月1日(月) 午後6時から午後8時10分まで
開催場所	瑞穂ビューパーク・スカイホール 小ホール
出席者及び欠席者	<p>教育基本計画審議会委員</p> <p>出席者：田中委員、悴田委員、石坂委員、池谷委員、中野委員、山宮委員、田村委員、戸田委員、沖委員、下田委員、鈴木委員、鳥海委員、宮坂委員、石川委員、友野委員、佐久間委員</p> <p>欠席者：岡田委員</p> <p>事務局：小峰教育部長、小熊指導課長、稲富統括指導主事、加藤指導係長</p>
報告事項	なし
審議会次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 教育基本計画の全体構想の構築(グループ演習) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 説明</li> <li>(2) グループ協議・まとめ</li> <li>(3) グループ発表</li> </ol> </li> <li>4. 第2次教育基本計画素案審議 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 説明</li> <li>(2) 質疑応答</li> </ol> </li> <li>5. 事務連絡</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
傍聴者	なし
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載。同一内容は一つにまとめた。)	<p>次第1. 開会、田中会長から会議の公開、会議の成立、会議時間、についての説明が行われ、会議が進められた。</p> <p>次第2. 小峰教育部長挨拶</p> <p>次第3. 教育基本計画の全体構想の構築(グループ演習)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 説明、小熊指導課長から、教育基本計画の基本構想の構築及びグループ討議についての説明</li> <li>(2) グループ協議・まとめ、4グループに分かれ教育基本計画の基本構想となるめざすべき教育についてKJ法による協議を行った。</li> <li>(3) グループ発表、グループごとに出た意見について発表を行い、考えを共有した。</li> </ol> <p>次第4. 第2次教育基本計画素案審議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2次教育基本計画素案説明、小熊指導課長から、第2次教</li> </ol>

育基本計画の構成等の素案について説明が行われた。

(2) 質疑応答

(田中会長) 説明にあった検討する3点について再度説明してください。

(小熊指導課長) 1点目は、教育委員会の教育目標と長期総合計画の理念を一致させることについて。2点目は教育委員会の基本方針と第1次教育基本計画が紐づけされていなかったことから、第2次教育基本計画では紐づけした点について。また、このフェーズ3として位置付けた内容について。3点目は第1次教育基本計画でいくせいされることとしていた「人間力」について、学習指導要領での「生きる力」とほぼ同じ意味合いであることから、人間力という言葉は使用しないが、その理念は継承し、「生きる力」を育むとした点についてです。

(戸田委員) 第1次教育基本計画の「人と人とかかわり合って～」のテーマと第2次計画の「みらいにずっとほこれるまち～」のテーマは移り変わって変更したのか、どのような位置づけで考えたらいのか。

(小熊指導課長) 第1次のテーマは町の長期総合計画に載っている言葉ではなく、第2次のテーマは現行の長期総合計画の理念に一致させた言葉となっています。

(宮坂委員) 令和2年度に次期長期総合計画が策定されます。この第2次教育基本計画のテーマは現行の長期総合計画の理念です。次期長期総合計画の理念は令和2年3月議会にならないと決まりません。次期教育基本計画のほうが先行して策定されることになります。そのため、順番が逆転してしまい、この言葉が残っているのかわかりませんので、それをすり合わせた形とするのか、含み置きがあるような形にするのか、次期長期総合計画の理念に乗せ換えるのか、いくつか方法があると思います。

(田中会長) 上位概念が後からできてしまう形でよいのでしょうか。

(宮坂委員) 第2次教育基本計画では、このフェーズ1が固まらなければ後が決まらないので、フェーズ1を町の教育委員会としての言葉としてもらい、フェーズ0として町の上位計画とし、それとフェーズ1の整合性がとれればよいのではないのでしょうか。

(小熊指導課長) それでは、フェーズ1は教育委員会の教育目標として、町の長期総合計画との整合性を取る形をとりたいと思います。

(俣田委員) 第1次教育基本計画の策定方針の内容(1)から(4)までの文言と第2次教育基本計画のフェーズ3の文言はつながっているのですか。第1次と第2次の整合性を確認するうえで、第1次の文言で第2次のフェーズ3の9つのなかに見当たらないものがある。もう少しフェーズ3の文言を検討したほうがよいのではないか。

(田中会長) すぐに答えはでないと思いますので、課題の提示として、他にご意見はありますか。

(鈴木委員) フェーズ3の7番について、教員の採用は町で行っているのですか。

(小熊指導課長) 教員の公募の制度があり、新卒の採用ではなく、2校目の異動先として西多摩を希望して来てもらうことができます。

(俣田委員) 採用としてしまうと、権限は東京都にあるため、文言を検討してはどうか。

(石坂委員) 「人間力」が採用された背景は、「人間力」ではなく、学習指導要領の中にある「生きる力」を前面に出したほうがよいのでは。

(小熊指導課長) 第1次教育基本計画で示された「人間力」の定義として断定的なものはないと思われます。第2次教育基本計画素案資料31ページで「人間力」は学習指導要領の「生きる力」とほぼ同じ意味の言葉としています。第1次で使用していた「人間力」と言う言葉の理念を残したうえで、「生きる力」に変えて行きたいと考えています。

(田中会長) 意見として出た課題について、事務局でまとめて、次回までの課題として、委員へ送ってください。

次第5. 事務連絡、小熊指導課長から次回予定について説明。

次第6. 閉会、田中会長により閉会。

閉会 午後8時10分